

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第4区分

【発行日】平成20年3月13日(2008.3.13)

【公開番号】特開2006-211873(P2006-211873A)

【公開日】平成18年8月10日(2006.8.10)

【年通号数】公開・登録公報2006-031

【出願番号】特願2005-23931(P2005-23931)

【国際特許分類】

H 02 P 25/06 (2006.01)

G 05 D 3/12 (2006.01)

【F I】

H 02 P 5/00 101B

G 05 D 3/12 W

【手続補正書】

【提出日】平成20年1月25日(2008.1.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項11

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項11】

少なくとも一方向に移動可能に設けられた移動体と、前記移動体に接続された可動要素と、当該可動要素を変位させる固定要素とを有する駆動部と、前記駆動部に通電して前記可動要素に推力を発生させる制御部とを備える装置の異常検出方法であって、

前記駆動部の可動要素を駆動させて、当該駆動部に発生する誘起電圧を測定する測定工程と、

前記測定工程における測定結果を用いて異常を検出する検出工程とを備えることを特徴とする異常検出方法。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0022

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0022】

また、本発明の他の態様の異常検出方法は、少なくとも一方向に移動可能に設けられた移動体と、前記移動体に接続された可動要素と、当該可動要素を変位させる固定要素とを有する駆動部と、前記駆動部に通電して前記可動要素に推力を発生させる制御部とを備える装置の異常検出方法であって、前記駆動部の可動要素を駆動させて、当該駆動部に発生する誘起電圧を測定する測定工程と、前記測定工程における測定結果を用いて異常を検出する検出工程とを備える。